

## ※ 7月5日開催「第3回練馬区高齢者保健福祉懇談会」配付資料

平成 23 年 7 月 5 日  
福祉部高齢社会対策課

第 5 期練馬区高齢者保健福祉計画にかかる検討課題  
「地域貢献につながる社会参加の促進」

## 【目標】

高齢者が、身近な地域への関心を深め、地域づくりを支える活動の担い手として社会参加活動を行っている状態を目指します。

## 【現状と課題】

練馬区の 65 歳以上人口は、平成 23 年 1 月 1 日現在 137,062 人（区総人口の 19.38%）であり、平成 26 年には、20%を超え、5 人に 1 人が高齢者になると予測されています。

また、練馬区高齢者基礎調査（平成 23 年 3 月）によると、区内の高齢者の 80%以上の方が日常生活において自立した元気な方々です。一方、地域活動への参加状況を見ると約 35%の方が何らかの活動を行っており、残りの方々についても、「時間に余裕があれば活動したい」、「関心・興味のあるテーマがあれば活動したい」、「活動拠点が身近なところがあれば活動したい」といった地域活動に参加する意欲の高い方も多かったです。

これから活動を始めようとする方も含め、地域活動への参加意欲がある「元気な高齢者」に対しては、生きがいづくりにつながる社会参加活動に加え、地域包括ケアシステムの担い手としての役割も期待されています。

区は、高齢者が身近な地域への関心を深め、地域の共生を支える活動の担い手として主体的に活動できるように環境を整備する必要があります。

そのために、①場・機会の提供、②活動に取り組む人材の育成、③情報の提供を行う仕組みづくりを進めることが求められています。

## 【施策の方向性】

## 1 場・機会の提供

活動するきっかけづくりとして高齢者センター・敬老館、地区区民館・地域集会所など活動の拠点となる場所、また、シルバー人材センター、老人クラブ、町会・自治会など活動の機会を提供します。

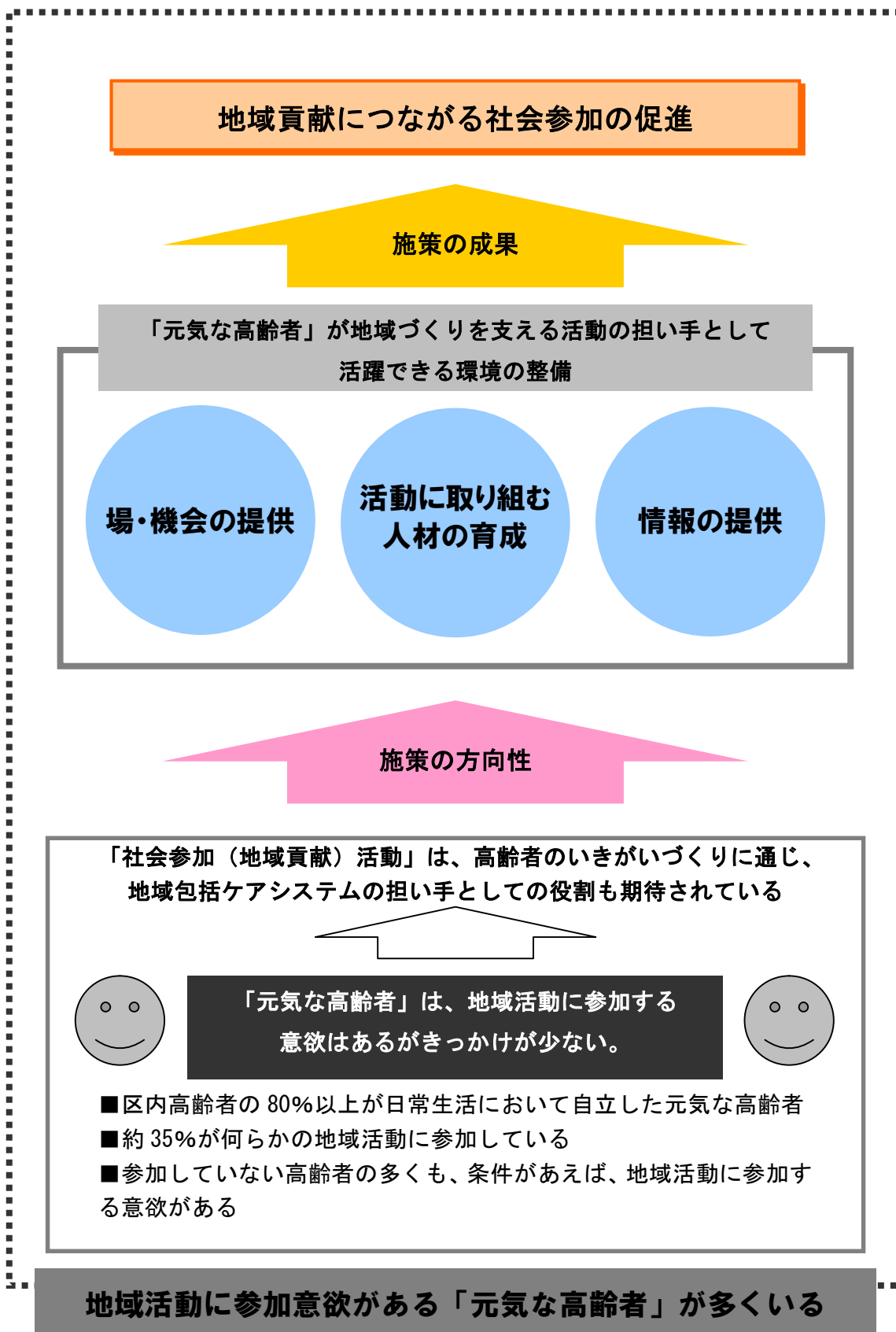
## 2 活動に取り組む人材の育成

地域活動に参加する意欲がある人や豊富な知識、経験、技術をもっている方が活動に取り組むための人材を育成します。

## 3 情報の提供

社会参加のきっかけづくりや既に活動をはじめている方などへ情報提供や啓発活動を行います。

【地域貢献につながる社会参加のイメージ図】



## 練馬区の主要な社会参加関連の施策

### 1 場・機会の提供

#### (1) 高齢者センター・敬老館の活用 【高齢社会対策課】

高齢者センターは、介護予防の中心的な拠点として位置付け、筋力向上トレーニングなどの介護予防事業の充実を行っている。また、敬老館は、憩いとくつろぎの場の提供に加え、健康づくりや介護予防、社会参加支援のための事業を実施している。さらに多くの高齢者に利用していただくため、高齢者センターと敬老館の連携を図り、地域の人材などを活用し魅力ある事業を実施して行く。

※「高齢者センター」・・・老人福祉法上の「老人福祉センター」（A型）の練馬区での名称（3館）

※「敬老館」・・・「老人憩いの家」の練馬区における名称（11館）

現況（22年度実績）			
○高齢者センター	3館	延べ利用者数	193,800人
○敬老館	11館	延べ利用者数	200,706人

#### (2) 地区区民館・地域集会所の活用 【地域振興課】

地区区民館は、「地域住民の相互交流および自主的活動の推進と地域における児童および高齢者の福祉の増進を図ること」を目的に、集会機能、コミュニティ育成機能、児童館機能、敬老館機能を兼ねた複合機能施設として22館整備されている。

また、地域集会所は、「地域住民の相互交流と自主的活動の場を提供し、区民生活の向上に寄与すること」を目的に、集会機能を中心とした施設で地区区民館の地域的空白部分が補完されるよう、現在27か所が整備されている。

現況（22年度実績）			
○地区区民館	22館		89.3%
○地域集会所	27か所		79.2%

※パーセンテージの数値は、「利用者アンケートによる満足度」の割合

#### (3) 生涯学習施設の活用 【生涯学習課・スポーツ振興課・光が丘図書館】

高齢者が身近な地域において、生きがいをもって元気に暮らすことができるよう、様々な学習やスポーツ活動、社会参加の機会を充実し、その拠点となる公民館、体育館、図書館などの生涯学習施設を整備し活用を図る。

現況（22年度実績）			
○高齢者向け事業数および参加者数	延べ事業数	8件	
	延べ参加者数	12,163件	
○図書館登録者数（70歳以上）	12,593人		

(4) 練馬区シルバー人材センターへの支援 【高齢社会対策課】

高齢者にふさわしい仕事を引き受け、会員の経験や技能に応じて仕事を提供する公益団体であるシルバー人材センターの会員向け事業を支援する。

練馬区シルバー人材センターの運営経費を補助することにより、高齢者福祉の増進を図る。

現況（22年度実績）	
○会員数	3,890人
○就業実人員	2,755人

(5) 高齢者お困りごと支援事業 【高齢社会対策課】

ひとりぐらし高齢者等の日常生活上の軽易な困りごとを、地域の元気高齢者が解決することにより、高齢者の生活を支援するとともに、元気高齢者の地域貢献活動の推進を図る。シルバーサポーター（シルバー人材センター会員）が、1時間以内で行うことができる軽易な日常生活上の支援を行う。

現況（22年度実績）	
○利用件数	226件

(6) 老人クラブへの支援 【高齢社会対策課】

高齢者が身近な地域で社会奉仕やいきがい活動を行う場として、さらに、介護予防の担い手としての老人クラブや老人クラブ連合会の活動を支援する。また、高齢者の価値観の多様化などに対応した魅力ある活動を展開し、団塊の世代をはじめとした多様な高齢者の集う場とするため、老人クラブや老人クラブ連合会に助言・指導を行っている。

現況（22年度実績）	
○老人クラブ会員数	11,726人

(7) 高齢者サークルへの支援 【高齢社会対策課】

高齢者サークルが実施する事業のうち、地域貢献活動となる事業について、その経費の一部を助成している。

現況（22年度実績）	
○助成団体数	20団体

(8) アクティブシニア支援事業への支援 【高齢社会対策課】

高齢者に臨時的・短期的な仕事などを紹介するアクティブシニア支援事業（シルバー人材センターが運営）を支援する。

現況（22年度実績）	
○就職者数	延べ163人

(9) 高齢者見守り訪問事業 【高齢社会対策課】

住み慣れた地域で安全・安心に暮らし続けられるようにするため、高齢者相談センターと地域住民等が連携して取り組むことで、地域支えあいネットワークの活性化を促進し、高齢者の虐待やひとりぐらし高齢者の孤立を防いで行く。

65歳以上のひとりぐらし高齢者を対象に、地域のボランティアが訪問員となり、定期的に見守ることにより、安否確認を図る。

現況（22年度実績）	
○利用者数	473人
○見守り訪問員	227人

(10) 福祉のまちづくりサポーター育成事業 【福祉部経営課】

様々な立場の人々や福祉のまちづくりに関心のある区民、専門家等を福祉のまちづくりサポーターとして登録し、練馬区の福祉のまちづくりに係るネットワークを広げる。

現況（22年度実績）	
○「福祉のまちづくり200人モニター」から変更	

(11) 施設介護サポーター養成研修 【介護保険課】

地域住民の社会参加および介護施設の活性化を図るため、介護施設で定期的に活動するボランティアを養成するための「施設介護サポーター養成研修」を開催する。

高齢者の心身や生活についての講義・実技研修を受けたサポーターを、ボランティアを求める介護施設に紹介し、研修修了者に活動の場を提供します。

現況（22年度実績）	
○研修修了者	42人

(12) 町会・自治会への支援 【地域振興課】

地域住民の福祉増進と地域コミュニティの形成を促進し、活発な地域活動を推進するため町会・自治会を支援する。

現況（22年度実績）	
○町会・自治会への加入世帯数	139,806世帯

(13) 練馬区NPO活動支援センターへの支援 【地域振興課】

NPO活動支援センターでは、相談事業や情報受発信・ネットワーク構築事業などを行い、NPO・ボランティア団体の活動を支援している。

現況（22年度実績）	
○NPO団体の登録数	204件（東京都認証団体）

(14) 人材情報バンク（「区民発」生涯学習出前講座）への登録 【生涯学習課】

区民の学習成果や経験が、区民同士の学び合いや地域づくりに活かされるよう、地域のサークル団体などの要望に応じ、区民自らが講師となり、講座を出前している。

現況（22年度実績）	
○「区民発」生涯学習出前講座登録講師数	74人

## 2 活動に取り組む人材の育成

### (1) 地域福祉パワーアップカレッジ 【福祉部経営課】

高齢者をはじめとする区民の経験や能力を最大限に活かし、区民と協働で築く地域福祉を実現するため、「地域福祉パワーアップカレッジねりま」を、平成19年10月に開設した。2年間の学習を通じ、地域福祉の向上に取り組む人材を育成する。

現況（22年度実績）
○第3期（29名）
○第4期（41名）

### (2) 家族介護者教室事業 【高齢社会対策課】

在宅で高齢者を介護する家族及び一般区民を対象に介護知識等の普及を図り、によって高齢者の福祉の増進を図る。

現況（22年度実績）
○ 116回

### (3) 介護予防普及啓発事業 【高齢社会対策課】

介護予防の最終目標は、個人の健康維持のみに留まらず、地域社会に自身の役割を見出したり、地域での交流が深まるなど、高齢者の生活全体が活性化することである。

そこで、地域活動への参加を促すために、特定高齢者介護予防事業を修了した方等に、介護予防推進員（おたっしや隊）として、地域介護予防活動（介護予防事業の体験報告、介護予防まつり等への手伝いなどのボランティア活動）参加を呼びかける。

現況（22年度実績）
○介護予防推進員（おたっしや隊） 66人

### (4) 認知症予防推進員育成事業 【高齢社会対策課】

地域で認知症予防活動を推進する認知症予防推進員に対して予防事業への参画や地域活動に必要な知識などのスキルを身につけ、区民の主体的な活動を促す。

現況（22年度実績）
○認知症予防推進員フォローアップ講座
（1）連絡会 2回 延べ88人
（2）ミニ講座講師更新認定講座（2日制） 2回 延べ54人

(5) 認知症理解普及促進等事業 【高齢社会対策課】

地域等において、認知症についての正しい知識を持ち、認知症の方や家族を支援するサポーターの養成など地域づくりを推進する。

現況（22年度実績）	
○講演会・講座の実施	
（1）講演会（診断と治療）	8回
（2）認知症サポーター養成講座	50回
○認知症キャラバンメイト支援	キャラバンメイト研修・連絡会 1回
○認知症支援リーフレット作成・配布	50,000枚

(6) 地域活動コーディネーター講座 【地域振興課】

人と人をつなぎ、地域づくり・地域活動を広げていくため、そのパイプ役となる地域活動コーディネーターのあり方や役割、必要なスキルを学び、地域活動の活性化に取り組む人材を育成する。

現況（22年度実績）	
○基礎講座	4講座 100名
○入門講座	4講座（3回連続講座） 70名

(7) （仮称）ねりま区民大学の設置

区民の生涯学習に関する活動や成果が豊かな地域社会づくりに活かされるよう、区民の主体的な生涯学習活動を支援し、地域活動を担う人材の育成と育成した人材を活かすことを目的とした（仮称）ねりま区民大学を設置する。

現況（22年度実績）	
○（仮称）ねりま区民大学庁内検討会議の設置	
○（仮称）ねりま区民大学の設置に関する基本的な考え方の策定	



### 3 情報の提供

(1) 高齢者向けホームページ「シニア ナビ ねりま」 【高齢社会対策課】

高齢者の社会参加のきっかけづくり、既に活動をはじめている方への情報提供など、有益な情報を効果的に収集し、ホームページをはじめとする様々な手段で、広く・的確に発信する仕組みをつくる。

現況（22年度実績）
○高齢者の社会参加ポータルサイト 「シニア ナビ ねりま」開設

(2) 練馬区NPO活動支援センターの活用 【地域振興課】 再掲〔場・機会〕

NPO活動支援センターでは、情報受発信・ネットワーク構築事業、相談事業などを行い、NPO・ボランティア団体に関する情報の提供・発信を行っている。

現況（22年度実績）
○NPO活動に関する情報を得るためのアクセス件数 128,456件

(3) ねりまの生涯学習「学習・文化ガイドブック」の発行 【生涯学習課】

文化芸術・生涯学習およびスポーツに関する講座などの学習情報や施設情報を収集し、広く区民に提供することで区民の生涯学習活動および地域活動の支援を図っている（毎年発行）。

また、ガイドブック発行のほか、区のホームページにおいて、学習目的や場面ごとの学習情報を提供する「ねりまの生涯学習ナビ」を運営している。

現況（22年度実績）
○「学習・文化ガイドブック」8,700部発行 ○「ねりまの生涯学習ナビ」の開設